

いま、世界で活躍するための道のり。

外務省委託

平和構築・開発における グローバル人材育成事業

The Program for Global Human Resource Development for
Peacebuilding and Development

PATHWAY TO THE WORLD



海外派遣での活動風景



広島大学



研修プログラム受講風景



広島大学国際室国際部留学交流グループ GPAD事務局
Global Peace and Development Career Network (GPAD)
Tel: 082-424-2401 Mail: gpad@office.hiroshima-u.ac.jp



いま、世界で活躍するための道のり。

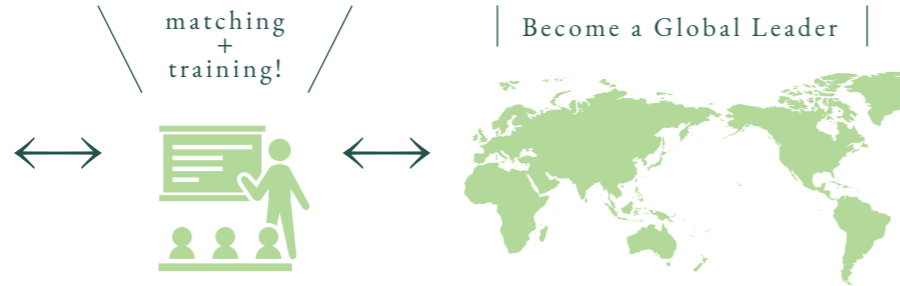
外務省委託 | 平和構築・開発におけるグローバル人材育成事業 The Program for Global Human Resource Development for Peacebuilding and Development

今年度(令和6年度)より広島大学が外務省から委託を受け、「平和構築・開発におけるグローバル人材育成事業」を実施することになりました。

このプログラムは国際社会の課題解決に貢献できる平和構築や開発分野の人材を発掘・育成し、国際機関でのキャリア構築を支援するために外務省が実施している人材育成事業です。本事業では広島大学が国連訓練調査研究所(UNITAR)と協力し、海外派遣を実施する国連ボランティア計画(United Nations Volunteers programme: UNV)と連携して研修を行います。説明会やエントリー情報は、背面記載の広島大学ホームページ内で随時公開中!

研修は次の5つのテーマを含めます

- UN Competencies, Values and Behaviors
- Substantive knowledge about peacebuilding & development
- Effective working skills
- Career development skills
- Leadership skills for managers



研修に
参加する!

国内研修・海外派遣を実施するプライマリー・コース、平和構築や国際開発関連分野で7年以上従事している方を対象としたミッドキャリア・コースの2つの研修を通して、平和構築・開発分野に貢献する人材を育成していきます。

仲間と
出会う!

目的や派遣先は違えども同じ志をもった仲間にはかけがえのない存在です。国内外での研修のタイミングはもちろん、各々の海外派遣期間中や、その後の活動において心強い存在となる仲間との出会いは一生の宝となるでしょう。

今後の
展望!

今後、本事業の研修を終えた修了生が、平和構築や開発支援の現場で長期に亘り活躍していくため、キャリア・アップにつながるテイラーメイドなアドバイスや支援を実施していきます。

プライマリー・コース研修内容

日本及び各国の研修員各10名程度ずつ

- 1) 国内研修オンライン事前研修(1週間) 対面研修(3週間)
研修場所は東京及び東広島市にある広島大学キャンパス内。
- 2) 海外派遣
国際機関で国連ボランティアとして1年間の海外派遣。(日本人研修員のみ対象)

プライマリー・コース
The Primary course



ミッドキャリア・コース
The Mid-Career course

ミッドキャリア・コース研修内容

日本及び各国の研修員各10名程度ずつ

1週間の研修により、国際機関の管理職に求められるスキルや心構えを養い、専門性を生かした更なるキャリア・アップにつなげていきます。研修場所は東広島市にある広島大学のキャンパス内。



※ 研修はすべて英語で行われます



私たち「GPAD事務局」がお手伝いします! UNVとして海外派遣期間中、またその後も皆様のキャリア構築を支援するために多種多様なサポートを行っています。国際協力機関での活動や研修プログラムに興味のある方は、「GPAD事務局」にご相談ください。



Q 今後の展望を教えてください。
A 現在の契約は1年間ですが、今後も引き続き難民分野の仕事に携わっていきたくと思っています。

Q UNHCRではどんなプロジェクトが多いですか?
A プロテクションという分野がメインです。例えば Gender-based Violence の予防や、実際の被害者に対して ケースマネジメント のサービス の提供を行います。また、メンタルヘルスや医療関係のサービスをパートナー団体 が提供できるようにしています。そのほか、難民定住地の レセプションセンター のマネジメントも行っていて、20 ほどある定住地の中心に事務所があるため、車で週に 2 度程度は定住地に足を伸ばしています。

Q 国際協力での活動を通して、最も印象的だった出来事は何ですか?
A NGO 時代に現地職員と初めて一緒に働く経験をしたことです。コロナ対策のマスクや消毒液を配布するプロジェクトだったので、一緒に働いた職員は元々 PC を使うのも経験のない女性で、最初は息が合わず、駐在活动自体にも不安がつのりました。しかし、彼女主導で働けるようにサポートに徹するなど、日々工夫を重ねる中で、結果的に彼女が楽しくそのプロジェクトで、帰りに彼女から、「とても刺激になった」「すごく楽しかった」と言ってくれた言葉が本当に印象的でした。その時の経験が、現地での駐在に対する不安を払拭し、その後の自分の自信につながったと思います。

意味で難民支援の分野に貢献できているため、自分の希望に沿った業務に携わることができているという実感があります。

Q 国際協力での活動を通して、最も印象的だった出来事は何ですか?
A NGO 時代に現地職員と初めて一緒に働く経験をしたことです。コロナ対策のマスクや消毒液を配布するプロジェクトだったので、一緒に働いた職員は元々 PC を使うのも経験のない女性で、最初は息が合わず、駐在活动自体にも不安がつのりました。しかし、彼女主導で働けるようにサポートに徹するなど、日々工夫を重ねる中で、結果的に彼女が楽しくそのプロジェクトで、帰りに彼女から、「とても刺激になった」「すごく楽しかった」と言ってくれた言葉が本当に印象的でした。その時の経験が、現地での駐在に対する不安を払拭し、その後の自分の自信につながったと思います。

Q 国際協力の活動に興味をもった時期とキッカケを教えてください。
A 父と見た「ホテルワルンダ」という映画や、「沈黙を破る」というドキュメンタリー映画を見て衝撃を受けました。それがきっかけで、中高生から国際協力に関する分野で働き、紛争をなくす仕事につきたいと強く願うようになりました。民間企業に入った時は国際協力や開発について漠然と関心がある状態で開発プロジェクトに参画していましたが、自分はバックオフィスで書類作成しか関われないことにモヤモヤしていました。その後、大学院で国際人権法や難民法について勉強した分野を活かし、卒業後入職した NGO では希望通り難民分野で働くことができ、やりがいを持って取り組むことができました。今、UNHCR の国際機関の仕事では NGO にいた頃比べて、より幅広く多岐にわたる業務に関わることができました。そのため、これまでの経験を活かしつつ、より広義の

Q 国際協力の活動に興味をもった時期とキッカケを教えてください。
A 父と見た「ホテルワルンダ」という映画や、「沈黙を破る」というドキュメンタリー映画を見て衝撃を受けました。それがきっかけで、中高生から国際協力に関する分野で働き、紛争をなくす仕事につきたいと強く願うようになりました。民間企業に入った時は国際協力や開発について漠然と関心がある状態で開発プロジェクトに参画していましたが、自分はバックオフィスで書類作成しか関われないことにモヤモヤしていました。その後、大学院で国際人権法や難民法について勉強した分野を活かし、卒業後入職した NGO では希望通り難民分野で働くことができ、やりがいを持って取り組むことができました。今、UNHCR の国際機関の仕事では NGO にいた頃比べて、より幅広く多岐にわたる業務に関わることができました。そのため、これまでの経験を活かしつつ、より広義の

Q 国際協力の活動に興味をもった時期とキッカケを教えてください。
A 父と見た「ホテルワルンダ」という映画や、「沈黙を破る」というドキュメンタリー映画を見て衝撃を受けました。それがきっかけで、中高生から国際協力に関する分野で働き、紛争をなくす仕事につきたいと強く願うようになりました。民間企業に入った時は国際協力や開発について漠然と関心がある状態で開発プロジェクトに参画していましたが、自分はバックオフィスで書類作成しか関われないことにモヤモヤしていました。その後、大学院で国際人権法や難民法について勉強した分野を活かし、卒業後入職した NGO では希望通り難民分野で働くことができ、やりがいを持って取り組むことができました。今、UNHCR の国際機関の仕事では NGO にいた頃比べて、より幅広く多岐にわたる業務に関わることができました。そのため、これまでの経験を活かしつつ、より広義の

Q これまでの国際協力の活動と現在の活動の内容を教えてください。
A これまでは新卒で日本の民間企業で、最初は国際機関の開発プロジェクトの入札書類の作成業務を担当していました。その後大学院を経て、難民を助ける会という NGO で 3 年働きました。2 年間は東京でザンビアとケニアの難民分野の案件でザンビアに何度出張し、1 年間はタジキスタンで駐在をし、初めて海外任務を経験しました。そして、このグローバル人材育成事業の「プライマリー・コース」の研修を受け、国連ボランティア計画(UNV)の海外派遣制度にて、現在は国連難民高等弁務官事務所(UNHCR)ウガンダ事務所 に駐在しています。



2024 年 4 月 ~ UNHCR で活動中
大竹真理子さん

先輩の声